



編集 SEF事務局
 連絡先 03-3358-4434
 URL: <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 理事長就任の挨拶 村瀬 禎男 理事長

この度、柏木寛前理事長の後任としてSEF理事長に就任することとなりました。前理事長にはSEF発足時から約5年間に亘り紆余曲折を経ながら色々な面でご指導頂き、NPOとしての今日の形が出来てきましたそのご尽力に深く感謝する次第です。顧問就任を快諾頂きましたので今後もお意見を頂戴しながら引続きSEFを見守って頂けることと心強く思っています。

新理事長として「より良い人間社会作りへの貢献」を念頭におきながら、当面は軌道に乗り出した事業の更なる展開を図るべく諸施策を充実させると共に、バックグラウンドとして特に若手会員の増員に注力したいと考えています。又、各部会の活動の活発化も是非図りたいと考えますので会員各位の一層の協力を宜しくお願いします。

8月度理事会より

1、07年度事業計画と今後の取組み 役員改選後最初の理事会につき、総会で承認された本年度事業計画の成行と今後の取組みを審議しました。	3、正会員入会の件 佐立弘臣氏の入会が承認されました。
2、事務局業務職務分担の件 事務局担当として新たに吉村会員が加わり職務分担を明確化しました。	4、報告事項 H18年度事業報告(都庁・法務局)完了 上條登録会員 正会員へ変更 NPO保険更新の件 事業成行

事業報告 DAPAD との協力事業 担当 E&C 石田理事

NPO 法人 DAPAD (アフリカ開発・発展の為の実際的な活動を促進する機関) と SEF とが協調して事業開発をしようとの動きはSEF たより21号(2007年2月)にて紹介しましたが、最近に至りアフリカでの新規燃料プラントの建設支援の案件が浮かび上がってきました。DAPAD を通し現地アフリカの工場、在日アフリカ大使館、日本のプラントメーカー等とコンタクトを保ちながら現在進行中です。E&C 事業部ではプロジェクト制をしき福永喜朋会員をプロマネに任命して活動を続けています。

8月8日に行われた第1回アフリカ開発の為の科学技術促進会議(DAPAD主催、日本外務省、JICA等後援)にも福永PMがセッションのパネラーとして出席しSEFの立場を説明しその存在意義をPRしました。

SEFサロン

第39回 8月22日開催(於 有楽町 La Stella) テーマ 「ウラン資源について」 講師 鮫島 薫 氏 (財)電力中央研究所 特別顧問 地球温暖化対策や石油、石炭の資源枯渇を考え原発を進めようという機運が世界に広がっています。ところがここ数年ウランのスポット価格が高騰し、すべて輸入に頼っている国内で不安視する向きがあります。講師は日本におけるウラン資源専門家の第一人者として ウランの長期的な供給量は確保されている。過去のウラン価格変動は探鉱投資額と連動しており最近の探鉱投資額の低迷がウラン価格の高騰を招いている。探鉱投資額は上昇しつつあり何れウラン価格も沈静化する、と看破されその背景を含め詳細に判り易く説明頂きました。	次回第40回サロン予定 開催日時 9月26日(水) 18時30分より 場所 有楽町 La Stella テーマ 「マイクロ・ナノセンサーの歴史と現状」 講師 藍 光郎 氏 (次世代センサ協議会会長 元 日立製作所 工学博士) 先端ハイテク技術のお話です。 ご期待下さい。
--	--

会員動向 8月度

佐立 弘臣 氏 正会員として新規入会 元月島機械に勤務。得意分野 電計部門エンジニアリング	8月末現在の会員数 正会員 28名 準会員 1名 登録会員 11名 賛助会員 2社
上條 亀八郎 氏 - 登録会員 正会員に変更 中小企業支援部会でのコンサルティング事業担当の為に変更	